

大方支所管内より



大成功！染め物教室楽しむ 女性部大方支部の皆さん

女性部中村支部の土居八栄子部長が活動する「草木染サークルあねの会」を講師に招きました。原料はタマネギの皮と、秋ごろ山で採れる虫こぶを乾かした五倍子（ごばいし）です。乾いた生地で染めない部分を輪ゴムでぎゅっと搾り、原料を煮出した鍋に入れて煮染めをします。

いくつかの工程を経て染め上げたあとは乾くのを待つだけ。広げるまで分からない1度きりの、そして世界に1つのストールが出来上がりました。参加した部員は「楽しかった。どんな模様になるかわくわくした。大成功、大満足です」と笑顔で話しました。

道行く人の癒しに 女性部三原支部の皆さん

野菜集荷所の花壇が華やかになりました。作業をしたのは、女性部三原支部の6人。マリゴールドやメランポジウム、日日草や千日紅にホウセンカなど60鉢以上の植え付けをしました。季節が来るとヒガンバナや紫陽花も咲きます。

コロナ禍で女性部活動は4年ぶり。手早く作業してお茶菓子で休憩し久しぶりの活動を楽しみました。

三原支所管内より



幡多地区

から こんには 今月の〇〇 気になる人

幡多地区より



捜索中は調査員とタッグを組み 大活躍！

ビーグル サラちゃん(6歳)

シロアリ防除業者の株式会社アサンテの探知犬チームに所属しています。素直な性格で好奇心が旺盛。きちんと指示しないと聞くことができないけど、一度スイッチが入ると集中力は抜群だそう。姉妹のアリスと一緒に頑張っています。

お皿のルーレットは場所で覚えないように作られています。探知犬ハンドラーの下山さんは「1周目の成功率は80%で2周目には95%」と話します。はずれのお皿にはポップコーンや日頃から住宅にありふれているお菓子など。家の中を捜索する時も感わされることのないように訓練しています。

シロアリは調査員がほとんど見つけるので日々訓練。いざというとき出動！サラちゃん頼りになります♪

EM石けん作りに挑戦！

女性部三崎支部のみなさん

女性部三崎支部は6月20日、暮らしや地球に優しいEM石けん作りを行いました。料理で使用した廃油に苛性ソーダを加えると石けんとして再利用できます。EM石けんは、これに米のとぎ汁EM発酵液やEM-Xセラミックパウダーをまぜたもの。抗酸化力がアップして、洗濯や肌に優しい良質なEM廃油石けんとなります。また、使用した排水は微生物が増え水を浄化します。

大方支部高橋美千代部長を講師に招き、18人が参加しました。「ステンレスのシンクや洗濯何でも使えて汚れもよく落ちます。排水には浄化作用もあるので続けて使って下さい」と話しました。

三崎支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



風を起し旋回しながら散布するので枝が揺れています。

1 西土佐支所 ドローンで 栗の防除試験実施

西土佐支所栗部会と高知県幡多農業振興センターは6月16日、四万十市西土佐下家地区でドローンによる防除試験を行いました。同部会は令和2年2月にもドローンによる施肥の実演会を行っています。同地で栗の防除に使うのは初めてで、部員や同センター、JA職員など合わせて11人が参加。ほ場を提供したのは同部会田辺次男部長で、約10アールを試験に使用しました。試験に使用するドローンは農薬を最大16ℓ積み、全重量が32kg。自動操舵にするため、事前に木の周りを測量し走行航路を登録します。16カ所の衛星から位置を受信し、登録された航路で木の回りを旋回しながら走行。この日は、殺虫剤を40倍の希釈で約4ℓ分を散布しました。今後は、散布していない箇所と比較しながら経過観察していきます。

田辺部長は「栗だけでなくものつくりにとって防除が一番大変。でもいいものを作るためには必要。効果が楽しみ」と期待を込めました。同センター農業改良普及課中脇満枝主任は「ドローンは風や受信状態が課題だが急勾配な圃地が多い地域にとって8割の労力削減に期待できる」と話しました。

2 宿毛支所管内 ドローンで散布 ジャンボタニシ駆除剤



ドローンに薬剤を入れ準備しています。

営農改善協議会水稲部会は6月27日、移植苗のジャンボタニシによる食害防止を目的に、ドローンを使用した薬剤散布の実演をしました。宿毛市管内で約32ヘクタールの水稲を栽培する福井景公さんが6月中旬に定植した約60アールのほ場で、行いました。

ドローンは入交グリー(株)が取り扱うAG社の機体P30で、農業用の飛行制御システムを搭載し事前飛行航路を登録することで、完全自動散布、自動航行が可能。高さ、散布幅をそれぞれ2.5mに設定し、粒剤タイプのスプリングライ、ジャンボタニシ駆除剤「スクミベイト」を約12ℓ散布しました。

農薬を提供したAG社グリー(株)の藤原麻生さんは「使用した駆除剤は天然にも存在する有効成分で、水生生物への影響が少ないのが特徴。駆除剤の多くは田植えと同処理ができない上、粒に土が被ると効果がでない。中の方は入りにくいのでドローンが有効活用できる」と話しました。

3 幡多地区 第10期女性大学はた小町 すてっぷあっぷコース開校



体を伸ばしたり縮めたりしてリラックスする受講者の皆さん。

6月15日に開校した「すてっぷあっぷコース」は、文化・芸術コースで全5回のカリキュラムを準備しています。今年は20人が参加。第1回はヨガトレーナーの中山結衣さんによるヨガ教室で、JAグリーン四万十店2階の開放感のある明るい部屋で開催し、心と体をリフレッシュしました。参加者は「横になって目を閉じ、リラックスして気持ち良かった。眠りそうになった」と笑顔で話しました。

第2回は、四万十市で営む「和菓子処大石」さんによる和菓子教室です。

4 宿毛支所 食農教育で田植え体験 坂ノ下農地保全会



植えつけ方を聞く児童の皆さん。

宿毛市坂ノ下地区の「坂ノ下農地保全会」は6月10日、宿毛小学校6年生を招き田植え体験学習を行いました。児童68人が参加し、もち米の品種「サイワイモチ」を約5アールの田んぼに植え付けました。

幡西ブロック青壮年部も協力し、苗の植え方を指南。初めて田植えを体験する児童が多く、子どもたちは恐る恐る田んぼに入りましたが、同部員や営農指導員と一緒に、苗を片手に手作業で植え付けを行いました。重光佐波さんは「田んぼの中は冷たくて気持ちよくくせになりそう。収穫したら皆で餅つきをしたい」と笑顔で話しました。

5 大方支所 黒潮町グリーンレモンに注目 市場6社が視察



生育状況等の説明を聞く市場業者の皆さん。

大方支所園芸部施設栽培部会と黒潮町は6月21日、22日の2日間、取引市場6社を招きグリーンレモン取引懇談会を開きました。

生産者、同町農業振興課、JA職員など23人が参加。21日は、同支所園芸集出荷場を視察後、販売会議や意見交換などの懇談会を行いました。東京シテイ青果(株)の上原吉明部長代理は「出荷場を視察し、グリーンレモンの品質の良さに驚いた。Sサイズの増える9月以降も単価を維持できるように検討していきたい」と話しました。

22日は生産者3人の各栽培施設を視察しました。伊藤聖弥営農指導員が収穫までの栽培管理や生育状況、特に果汁量にこだわった栽培指導を行っているとの説明。広印広島青果(株)の中村裕志係長は「果汁の豊富さやおいしさをアピールして販売していきたい」と話しました。

6 幡多地区 トラクターメンテナンス講習会 青壮年部幡多本部

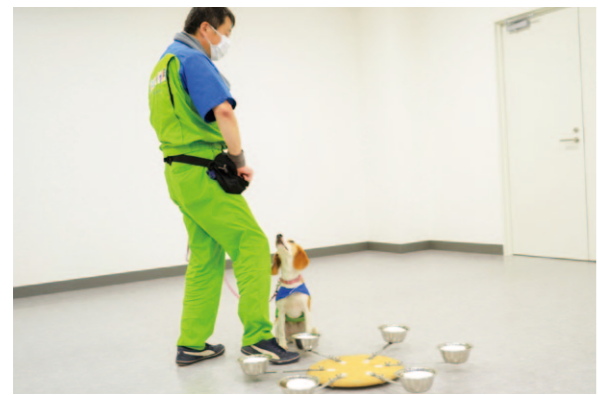


メンテナンスの注意事項を聞く部員の皆さん。

中村北部事業所にて6月29日に行った講習会では、(株)中四国クボタの平口将士さんを講師に招き、部員や営農指導員など18人が参加。初めに農作業全般の安全対策について説明した後、実際にトラクターを用いてセルフメンテナンスの方法や注意点を詳しく教えました。

平口さんは「メンテナンスで大事なのは、エンジンオイルを見ること。交換時期を守ることで機械は長持ちします」と呼びかけました。参加者は「1日頃からメンテナンスをするので作業の確認ができ参加してよかった」と話しました。

7 幡多地区 シロアリ探知犬におまかせ (株)アサンテが実演



皿をみつつけ合図するサラ。

はた営農経済センターは6月27日、シロアリ防除業者で(株)アサンテに所属するシロアリ探知犬を招き職員を対象に実演会を行いました。日本にシロアリ探知犬は3頭だけ。その1頭「サジ」はドッグスクールで訓練されたヒール犬のメス、6歳です。

この日は皿が6つあるルーレットで実演。外見では見分けがつかない皿は、1つだけシロアリの入ったシャーレで残りの5つに「糞の臭い」を撒きながら近づけていきます。サラは迷うことなくシロアリの皿を見つけて合図しました。

同会社技術部研究開発課探知犬ハンドラー下山当係長は「シロアリはほとんどスタッフが見つけます。人間でも侵入経路が見えない場合や、駆除するポイントを絞り込み施工範囲を決めたり、文化財などがあり床下に潜れない場合などは探知犬の出番」と説明しました。

初心者（家庭菜園）向け

レタス



栽培のポイント

- 冷涼な気候に好み、栽培適温は15～22℃生育の前半は低温によく耐え、-5℃ぐらいい下がっても枯死するようなことはないが結球期に入ると凍害を受けやすい。
- 暑さに弱く、27℃以上になると正常な結球はせず腐敗株が多くなる。
- 高温、長日下に種まきすると、とう立ちしやすいので夏まきはまきどきを誤らないこと。

【栽培暦】 ●:播種 △:定植 ---:育苗 -:生育 ■:収穫

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付け計画			●	△								■

① 育苗

① 播種床の準備

播種床は、冠水の心配のない風通しのよい場所を選択する。播種の10～15日前に1㎡当り完熟堆肥3kg、苦土石灰200g有機1号ペレット40g施用し、土とよく混和しておく。

② 催芽

種子の発芽は25℃以上になると発芽が阻害される。したがって、高温期に播種する場合には、催芽の方法は、一晩水に浸し十分に吸収させ、水切りした種子を乾燥しない濡れタオル等に広げ一昼夜涼しい場所に置く。

② 播種

- 播種は1㎡当り4ml準備し床面を平らに均した後3～5cm間隔に浅く溝をつけ十分灌水する。
- 直ちに床が乾かないようにモミガラ等で覆うか、こもがけをする。発芽までは床が乾燥しないよう適宜灌水する。

③ 発芽後の管理

- 発芽後（播種後2～3日）直ちにこもを除く。徒長苗や、立枯病の発生を防ぐため床土が過湿にならないようこの時期の灌水はひかえめにする。本葉1枚の頃、込み合っているところの間引きを行う。

④ 移植床の準備

- 移植する10～15日前に、1㎡当り完熟堆肥3kg苦土石灰200g有機1号ペレット50gを施用し、土とよく混和する。

⑤ 移植

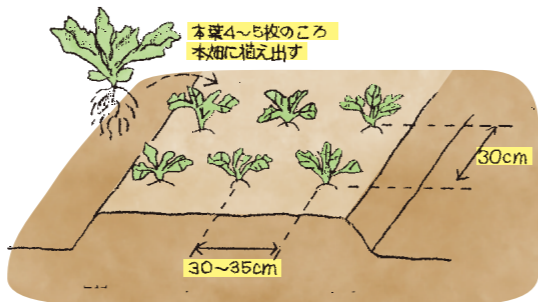
- 2～2.5枚ごろ畝幅1.5m、株間10×10cm間隔に植え傷みをさせないよう根を多くつけて行う。ポット育苗には本葉1.5～2枚の時移植を行う。その後十分灌水をし、低温期はトンネル被覆、高温期は遮光資材で覆いしおれを防ぐ。育苗後半には、灌水をひかえめとし、十分順化をおこない定植にそなえる。

⑥ 畑の準備

- 定植の2週間以上前に、1㎡当り完熟堆肥2kg苦土石灰150g有機1号ペレット280gを施用する。畝幅は3条植えで150cm程度を目安に畝立てをする。

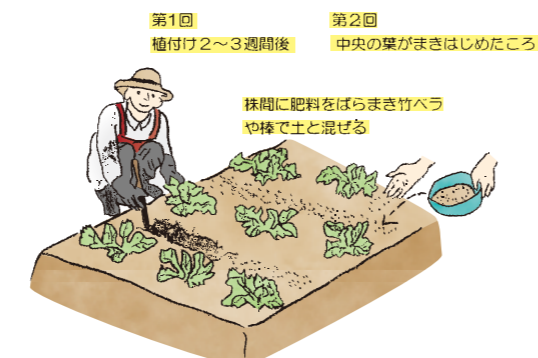
⑦ 定植

- 定植適苗は本葉4～5枚です。苗は定植前に十分灌水してできるだけ根土をつけて丁寧に植える。定植後活着までは十分灌水し活着を促進させる。生育全般で適度の土壌水分が必要なので絶対乾燥させないよう適宜灌水する。土壌湿度を確保して根の健全な発育を促す。



⑧ 追肥

- 第1回目の追肥：定植後2～3週間後にCDU555を1㎡当り30gを施肥する。
- 第2回目の追肥：中央の葉が巻き始めた頃株間にCDU555を1㎡当り30g施肥する。



えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

■ 幡多農業振興センター 中脇 (0880-34-7070)

クリの剪定 ~大きな枝の切断位置は夏に印をつけましょう~

冬期に剪定する大きい枝の選定と目印付け

クリの剪定は通常、落葉後から発芽までの12月～翌年3月までに行いますが、この時期は枝葉の繁り具合がわかりにくいので、大きな枝を多く残しがちです。枝が多すぎると、下枝に日が当たりにくくなるため、結果母枝が高所になるので樹を切り下げることができません。葉がある時期にどの大枝を切るか、カラスプレー（写真②）や毛糸（写真③）で印を付けておいて冬期に剪定すれば、剪定時間の短縮ができます。



日射方向へ伸びる枝は高く伸び上がるが、水平方向に伸びる枝は、反対側に伸びる枝は光を求めて高所へ伸び上がりやすい。

密植で間伐したいが、品種不詳で間伐後に受粉樹が残るか心配で間伐できないときは、日射の方向（黄色い矢印）と反対側に伸びている枝（赤い点線）を元から切断する。低樹高化の基礎となる（黄色い丸）の枝に日が当たるようにする。邪魔な枝を除く時は、育てたい枝のすぐ近くにある枝から剪除していく。「離れた所のたんこぶより、目の上のたんこぶの方が邪魔になる。」



カラスプレーによる印付け能率的だが、液ダレすると切断位置が不明瞭になる。



青い毛糸による印付け切断位置がはつきりわかるが、チェーンソーの刃に食い込むおそれあり。枝に掛ける手間もかかる。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

毎日「ひまわり牛乳」を飲んでいました。ひまわり牛乳で自家製の「ヨーグルト」も作ります。

(宿毛支所管内・84歳)

以前主人も牛を飼って牛乳の卸売をしていたので乳牛の育て方は大変だと思いました。

(三崎支所管内・70歳)

牛乳豚汁、牛乳もちどちらも作り方が簡単で美味しかった！牛乳もちは暑い時に冷やして食べるとさらに美味しいと思う。色々なレシピ教えてください。

(中村支所管内・66歳)

ごはん、おやつにも使える牛乳活用レシピ。高齢になり骨が心配ですのでいいですね。食べたい！

(十和支所管内・70歳)

久しぶりに投稿します。今年は梅雨入りも遅くなりコロナ禍のこの頃何とか二人で生きています。胃腸も弱く毎月飲むヨーグルト及び美味しいひまわり牛乳で生活しています。雨にうたれた紫陽花や北海道のラベンダー畑を覗たいものです。目標百歳を頑張っています。

(佐賀支所管内・91歳)

最近牛乳を飲まなくて記事を読んでから、また飲みはじめました。生産者の方の努力で私達は口に入れることができますね。

(大月支所管内・61歳)

▼6月号の特集は牛乳をテーマに取り上げました。また活用レシピの掲載もあり好評でした。私自身もこれまでアイスコーヒーに入れるか、定番のシチューやグラタンで使うくらいでしたが、牛乳豚汁など和食に使ったのは初めてでした。コクと甘味が出ておいしかったです。

お芋のおやきいいですね。現在芋のつるを刺している所です(夫) 1回目はサルに抜かれてしまい：「残念、今度はどうかな？」

(三崎支所管内・68歳)

お芋のおやき、サツマイモの炊き込みごはんはなつかしい品物です。又、一度作ってみましょう。

(中村支所管内・78歳)

母が作っていたお芋の炊き込みご飯。私も好きで娘にも。いつも芋だけ入れて塩を少々入れたものでしたが、塩昆布を初めて入れて作りました。おいしかったです。娘にも教えます。

(宿毛支所管内・81歳)

▼サツマイモは食事、おやつ、スイーツにも使えて、おいしくて子どもから大人まで人気者ですね。JAが取り組む「女性大学あぐりコーズ」でもサツマイモを皆で植えました。たくさん収穫したいと思います。

「時間に融通の利く農業。子どもとの時間を楽しんでいきます」この見出しに心が躍りました。大げさに思われるかもしれませんが、私たちが子育てする時の農業はただただ時間に追われ無我夢中で融通も利かせられず楽しんでいられません。これから若い人の農業に対する向き合い方、働き方はどうあつてほしいです。これからますます展望のある農業に期待しています。

(大方支所管内・58歳)

▼輝け！新農人からです。時間の流れはあつという間で、子どもの成長も見逃してしまします。家族にとって一緒に過ごす時間は大切ですね。

新刊のお知らせ



●『68歳、ひとり暮らし。きょう何食べる？ 自分のための料理を愉しむ工夫』大庭英子 著
定価：1,650円(税込)

ベテラン料理研究家が教える、「ひとりごはん」を楽しむアイデア。自身の経験を生かし、食事づくりをラクにする下ごしらえや、あると便利な食材ストック、シニアに必要な栄養をたっぷり摂るコツなどを紹介。



●『和食ではじめる体質改善アトピーっ子の安心ごはん』渡辺雅美 著
定価：1,540円(税込)

保育園の栄養士と小児科医がすすめる、子どものアトピー症状を改善させる和食レシピ。だしや素材をいかした和食は、元気な肌をつくる栄養がたっぷり。おかずや汁ものなど多数掲載。毎日飽きずにたのしめる。

基本から応用まで家庭菜園での野菜づくりを応援します。 『やさい畑』購読しませんか？

家庭菜園ですぐに取り入れられる野菜づくりの実用情報に徹しています。とりわけ栽培実験に基づく比較検証記事が特長であり、読者のみなさまからご好評をいただいています。
春・初夏・夏・秋・冬・春準備 号 7年に6回の発刊。各号922円(税込)
お近くのJA(経済販売)までお問合せください。

